

# 第13回 日本の農業と食を考えるシンポジウム

## 「食糧危機を乗り越える鍵は自然農にあり」

12月11日(土)10-18時予定 ※12/14(火)26時まで継続オンデマンド配信

★参加・視聴費無料★

ライブCHhom東京用賀校、大阪校同時中継&オンライン自宅配信、

申し込みURL: <https://www.homoeopathy.ac/event/27989/>

主催: 農業法人 日本豊受自然農(株)、日本豊受自然林(株)、日本宇迦魂種苗(株)

Time	プログラム
10:00 午前の部	開会挨拶 (大会長 由井寅子) 「何が問題「ゲノム編集」? ~日本の「ゲノム編集トマト」のターゲットは子ども達だった!~」(仮題) 印鑰 智哉(世界の食の問題研究家 OKシードプロジェクト事務局長) 「小学校や障がい児介護福祉施設にゲノム編集トマトの苗を配らないで!」オンライン署名発起人 <休憩>おもてなし&豊受オーガニクス 渡邊公代店長からのお知らせ <来賓講演>「米、麦、大豆、雑穀など穀類の自然な種子についての大事な話 種子法廃止、ゲノム編集など遺伝子改変技術と私たちはどう向き合えばよいか」 岩泉好和(特定非営利活動法人Axis委員会連合 会長・岩手県有機農産物等アドバイザー) 2019年農林水産省・FAMICによる「有機JASにおけるゲノム編集技術の取扱いの検討会」委員に就任。 有機の基準に「ゲノムを禁止」を答申。
12:30	★ 昼食休憩
13:30 午後の部	豊受自然農スタッフリレー発表 「皆様に安心安全な食を提供することが農家の喜びです!」 洞爺農場(米丸、澤田) 函南農場農業部(岡本) 米班(川原)、麦・大豆班(白井)、種苗・野菜班(数原)、加工部(横田)、発送部(小城原) <来賓講演>「占領政策」と「コメ危機」と「学校給食」 新刊『農業消滅』がベストセラーに!(農家を苦しめる政策が続けば、日本は必ず飢餓に陥る) 由井大会長も推薦。大事な内容です。ぜひお読みください! 鈴木宣弘(東京大学農学部教授) <休憩> ※おもてなし&豊受オーガニクス 渡邊公代店長からご案内とご報告 <会員発表> 「レメディ―と御古菌を使って ベランダで農業を始めました」(会員 体験談発表) 「健康であるために! なんといっても食事が大事」(助産師 西田つや子) <日本の皆さんへのメッセージ動画上映> 「遺伝子(ゲノム)を編集した食品はいりません! あなたの勇気が世界を救います」 ジェフリー・M・スミス(アメリカ IRT研究所長) (映画「遺伝子組み換えルーレット」&「遺伝子を実験室のピーカーから放出してはならない」監督) <基調講演> 「食糧危機を乗り越える鍵は自然農にあり」 大会長 由井寅子(日本豊受自然農代表)
18時予定	終了予定

※12月4日現在 プログラムは変更可能性あり